

# なつとりのいく話



「内視鏡で治る胃がんとは

～早期発見から治療まで～」

日時:平成20年10月16日(木)

場所:地域医療研修センター

講師:丸川 洋平 (消化器科)



金沢医療センター公開講座

「話題の病気シリーズ」

～ちょっと聞いて見ませんか～



## 胃の検査法

- ・ペプシノーゲン検査 (採血検査)
- ・胃バリウム検査
- ・上部消化管内視鏡検査 (胃カメラ)

早期の胃がんには症状は  
ありません！！

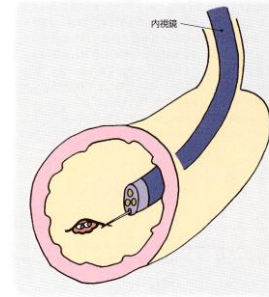


# 胃がんの内視鏡治療選択基準

		NO (リンパ節転移なし)			
深達度	潰瘍	分化型胃癌		未分化型胃癌	
		2cm以下	2cm以上	2cm以下	2cm以上
M 粘膜層	なし	絶対的 内視鏡治療	相対的 内視鏡治療	相対的 内視鏡治療	手術
	あり	3cm以下 相対的 内視鏡治療	3cm以上 手術	手術	
SM1 粘膜下層 浅層 (~0.5mm)		3cm以下	3cm以上	手術	
		相対的 内視鏡治療	手術	手術	

# 内視鏡的粘膜切除術

内視鏡医(内科医)が行う内視鏡手術

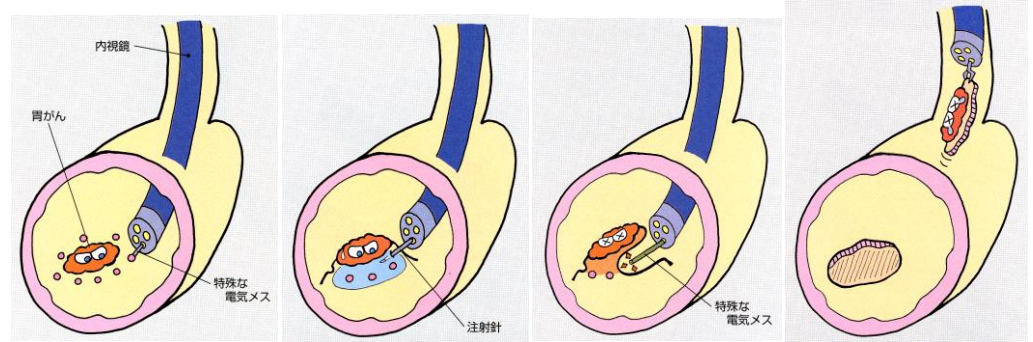


- 1) ストリップ法
- 2) 吸引法
- 3) 内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)



# 内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)

早期胃がんの場合、病変が浅く、リンパ節に移転している可能性が極めて少ないときに、まず内視鏡を用いて胃がん切除します。当院では病変を一括に切除する内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)を積極的に行い、根治を得る症例が多くなっています。



- ① 切除箇所を全周性にマークします
- ② 粘膜下層に生理食塩水を注入して、病変を挙上します。
- ③ 特殊な電気メス\*で粘膜を切開し、粘膜下層を剥離して病変を切除します。
- ④ 病変を回収します。

\* :ITナイフ、フックナイフ、フレックスナイフなど

